

### 多自然川づくり取組事例

タイトル : 神代川河川再生事業について		
水系 / 河川名 : 一級河川五ヶ瀬川水系/神代川	河川分類 : 中小河川	
河川の流域面積 : 3.1 km <sup>2</sup>	整備計画流量 : 55m <sup>3</sup> /s	セグメント : M
事業 : 環境整備	事業開始年度 : 平成26年度	
目標設定 : 定性的	段階 : C(モニタリング・評価時)	
課題・目的(主な) : 流下能力の確保、縦断的連続性の保全・再生・創出、瀬・淵の保全・再生・創出		
工法(主な) : 掘削(河床)、護岸整備、河道法線修正、魚道、落差工、帯工等の整備、階段工の整備		
配慮事項(主な) : 河川景観への配慮、歴史・文化への配慮、施工管理、委員会、協議会等の開催		

#### 背景・課題、目標設定

##### <背景>

- ・高千穂町は、年間140万人以上が訪れる県を代表する観光地でありながら、通過型の観光が多く、観光客の増加が町中心部の賑わいにつながらないという課題を抱えていた。そこで、町中心部付近に位置し、神話の重要な舞台でもある「天真名井(あまのまない)」にスポットを当て、新たな地域の魅力を創出するための「まちづくり」に向けた動きが始まった。
- ・さらに、「天真名井」の傍を流れる「神代川」については、昭和47年の河川改修により直線的なコンクリート三面張の河道となったことで、古代を彷彿とさせる環境・景観が失われ、かつては豊富だった「天真名井」の湧水も減少した。その結果、地域の人々の暮らしと神代川とのつながりも希薄になっていることから、神話の地にふさわしい本来の姿を取り戻すための「かわづくり」に向けた取組が始まった。
- ・そこで、高千穂町が実施する「まちづくり」と、県が実施する「かわづくり」とに連携して取り組むことにより、地域の魅力の向上と賑わいの創出、そして「ひと」と「かわ」とが密接に関わる自然豊かな河川環境の再生を目指した「神代川かわまちづくり計画」を策定し、今日まで様々な取組を実践してきている。



##### <目標>

1. 高千穂地域のもつ神話・歴史という文化的資源を生かしたかわまちづくり
2. 水循環の復活を実現するかわまちづくり
3. 地域の人びとの生活・文化と直結し地域の賑わいを復活するためのかわまちづくり

#### 取組内容・対策例(1/2)

##### 【良好な景観形成の実現】

直線的だった河道を蛇行させ、河床については、擬岩コンクリートを活用し、天然の岩盤に近づけて仕上げた。また、デザインの細部については、試験施工の現場で議論を行い決定し、施工時には溶結凝灰岩のなめらかさをできるだけ再現できるように、留意した。護岸については、自然石を使った石積みに改修し、階段も設置することで、川に親しみやすい護岸が実現できた。石積み護岸の効果として、出水時の流速を遅くする治水的効果も期待される。水生生物の住みかも無かった三面張りの護岸だったが、擬岩工をオーバーハングさせて施工し、生き物の住みかを創出した。

○河道を蛇行させ、かつての神代川の姿を



○擬岩コンクリート工で凝結溶解岩を再現



○現在の神代川



## 取組内容・対策例(2/2)

## 【行政と住民・企業・学識者との協働(パートナーシップ)】

専門家等を交えた河川再生検討委員会(かわづくり)と、地元の人々が中心となったかわまちづくり推進協議会(まちづくり)を定期的に開催し、技術面での意見と利用者の立場からの意見をそれぞれ取り入れながら事業を推進した。具体的には、河川の法線、水の流れ、護岸の形状、河床の整備等を検討しており、景観模型による事業説明や、水理模型実験による水理検討の他、現地地で4種類の試験施工をし、委員会・協議会、さらに地元住民等を招いた現場見学会を開催し、意見を細部デザインに反映しつつ、施工業者も創意工夫を凝らし、徐々にバージョンアップしていった。



見学・検討



見学・検討



見学会

## 【住民参画(ワークショップ等)】

ブログによる情報発信や、地元説明会や現場見学会等を定期的で開催するなど、幅広い情報発信と事業に対する理解の醸成に努めている。また、橋名板の文字は地元小学生の文字が採用され、小学校と連携した出前講座を定期的で開催している。



出前講座

## モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

## &lt;整備後の河川調査結果&gt;

哺乳類調査、鳥類調査、魚類調査を行った結果、生物が確実に戻ってきているのが確認でき、新たに重要種を発見することができた。

## ○生き物の回復



サワガニ



タシギ

## &lt;アピールポイント&gt;

- ・専門家等を交えた検討委員会と、地元の人々が中心となった推進協議会を定期的に開催し、技術面での意見と利用者の立場からの意見をそれぞれうまく取り入れながら河川再生事業を推進した。
- ・水理模型実験や試験施工等を実施しながら、安全でかつ環境、景観に考慮した河川の設計、施工に努めている。
- ・神話・歴史と深く密接している川であるため、その文化的資源を生かした整備を行っている。
- ・溶結凝灰岩のような複雑な形状を有する河床を擬岩コンクリートによって施工するという特異な改修条件であり、工事発注図面だけでは設計思想の伝達が困難であるため、①景観検討模型と施工用模型を活用した発注者・設計コンサル・施工業者の三者協働による検討と細部デザインの共有、及び②施工段階における設計コンサルによる施工業者への直接的なデザイン指導(デザイン監理)を組み込むことで、その対応を図った。
- ・高千穂町の将来を担う子供たちが将来誇れる河川になるよう、小学校と連携した出前講座を定期的で開催している。
- ・工事完了後、生物調査を実施し、整備前の調査と比較し生物の回復が確認できた。

## 備考

- ・地元住民向けの見学会を開催して、意見交換を行い、神代川への思いを実際に施工で使用する石に書き残した。
- ・昨年、神代川かわまちづくり事業(天真名井周辺整備)が完了した。
- ・竣工式では今回の河川再生事業で整備した緩傾斜広場で地元の方々が神楽を奉納され、神代川が賑わいの場となるなど、地域の活性化に寄与している。
- ・ブログによる情報発信や、地元説明会や現場見学会等を定期的に開催するなど、幅広い情報発信と事業に対する理解の醸成に努めている。
- ・R7.8.24にテレビ番組「みやざきゲンキTV」にて放送「神代川かわまちづくり～川と日本人の心の再生を目指して～」